３分クッキング（前編）

大島健吾

［配役］
男１
男２
女１

明転すると、舞台にエプロンを付けた男１と男２が立っている。
勇壮な音楽がかかる。イントロが始まって５秒あたりで、

男１・２ 三分クッキング！

２０病程度、照明が激しくきりかわる。地明かりに戻る。

男２　　３分しかないのに、もう２０秒も使ってしまった！
男１　　今日の料理は肉じゃがだ！

映像：とてもおいしそうな肉じゃが

男１　　それではさっそく材料のご説明だ！

電話の音。

男１　　（携帯を取り出し）クッキング中だ！
男２　　かっけえ・・・

電話の音。

男１　　（携帯を取り出し）何度いったらわかるんだ！（携帯を上ハケになげる）
男２　　かっけえ・・・

電話の音。下ハケから、携帯が飛び出てくる。
男１は、すぐさま、携帯を下ハケに投げる。上ハケから携帯が飛び出てくる。

男１　　ちっ、時空がねじ曲がってやがる・・・
　　（電話に出て）クッキング中だ！　残り１分しかないってのに・・・

なんだと？　スタジオの外で事故が起きた?
女性が車の下敷きになっているだと！？
男２　アニキ！
男１　助けに行くぞ！
男２　肉じゃがはいいんすか！　クッキングは！
男１　いいんだ・・・また作れるさ・・・
男２　（感動して）かっけえ・・・
男１　行くぞ！

男１と男２は、音楽にあわせて、走るマイム。照明が激しくきりかわる。
女１が奈落から半身を出す。照明が地明かりに戻り、

男１　大丈夫ですか！

男１と男２は手を伸ばす。男１は女１の手をつかむ、女１は男１の手をしっかりつかむ。

女１　来ないで！　ガソリンが漏れてる！　もうすぐ爆発する！
男１　なんだと！
男２　うわあああああ

男２はすぐさま離れる。男１は女２に掴まれ離れられない。
男２は、離れたところから助けようとしている。

女１　私は、いいの。もう、死んでも。
ありふれた、つまんない人生だった。
今日だって、彼氏においしいもの食べてもらおうと思って、お弁当作ってきたのにいつまで待っても、彼氏はきてくれなかった。
もう、悲しくて、笑いがこみあげてきた。
なんだっていいや！そう思ってたら、車が突っ込んできて・・・
男１　あの、手、離してくれませんか。爆発するんでしょ？
女１　さみしいよ～。
男１　ちくしょう、おれ一人の力じゃ・・・
男２　うおおおおお！！　アニキ！　助けましょう！

男１と男２で女１を引っ張りあげる。と同時に爆発音。

男１　あぶなかった・・・
女１　助かった・・・私は、岡島陽子。助けてくれてありがとう。
男１　陽子さんか、いい名前だ！　なあに、生きてれば、いいことあるさ！
女１　あの・・・もしよかったら、これ、食べてくださらない？

男２　　陽子さん、これ、なんすか？
女１　　肉じゃがです。
男１２　三分クッキング！

おわり